

令和7年度 第1回 中部森林管理局 国有林材供給調整検討委員会

< 次 第 >

日時：令和7年6月30日（月）13：30 - 16：00

場所：中 部 森 林 管 理 局 大 会 議 室

- 1 開会
- 2 森林整備部長あいさつ
- 3 検討委員紹介
- 4 委員長選出
- 5 議事
 - (1) 国有林材供給調整検討委員会 趣旨等
 - (2) 国有林材供給調整対策について
 - (3) その他
- 6 閉会

令和7年度「国有林材供給調整検討委員会」委員等名簿

検討委員会 委員

区 分	所 属	氏 名
学識経験者	信州大学名誉教授	植木達人
関係行政機関の職員	富山県農林水産部森林政策課 主幹	北島貴文
関係行政機関の職員	長野県林務部信州の木活用課 県産材利用推進室長	今尾春彦
関係行政機関の職員	岐阜県林政部県産材流通課長	垂見光貴
関係行政機関の職員	愛知県農林基盤局林務部林務課 あいちの木活用推進室長	佐久間学
川上・川中	長野県森林組合連合会 業務課長	田口連蔵
川上・川中	岐阜県森林組合連合会 木材流通本部長心得	赤池保
川上	平澤林産有限会社 代表取締役	平澤照雄
川上・川下	株式会社勝野木材 代表取締役社長	勝野智明
川中・川下	株式会社東海木材相互市場 代表取締役会長	鈴木和雄
川下	ウッドリンク株式会社 代表取締役副会長	原野哲雄

中部森林管理局

官 職	氏 名
森林整備部長	村上卓也
資源活用課長	三井正
企画官（木材需給対策）	村木英徳
企画官（間伐推進）	下平明博
企画官（長期安定供給）	古畑輝雄

官 職	氏 名
上席技術指導官（木材供給）	谷澤恭子
供給計画係長	田中真二
素材供給係長	黒澤友大
供給計画係	菊地真以

令和7年度第1回国有林材供給調整検討委員会

(概要)

1. 開催日時

令和7年6月30日（月）13時30分～16時15分

2. 開催場所

中部森林管理局 大会議室

3. 検討内容

- （1）国有林材供給調整検討委員会 趣旨等
- （2）国有林材供給調整対策について
- （3）その他

4. 検討結果

全国的な木材需要動向をみると、新設住宅着工戸数の減少傾向が継続しているほか、プレカット工場等は4号特例縮小による確認申請の遅れにより加工量が伸び悩んでいる。また、国産材製品は直需向けが堅調で需給は引き締まっている状態が続いているため、相場は保合で推移している。

昨年は立木販売の搬出期間の延長を「予防的措置」として、6月以降全局において実施するとともに、地域の需要動向に応じた立木販売の公売延期を行ったところであるが供給調整対応は一旦終了したところであり、令和7年度の国有林材の供給に当たっては、地域の木材需給動向はもちろん、花粉症発生源対策など民有林施策への影響にも注意を払いながら、今後の非住宅を含めた国産材需要動向にも注視していく必要がある。

一方、中部局管内の原木価格に目を向けると、概ね横ばいで推移しており、全体的にはウッドショック以前の価格よりやや高値で踏みとどまっているものの、木材需給状況によっては原木価格の先行きは不透明な状況が継続している。

こうした状況を見据え、中部局では、引き続き本年度計画している製品生産事業を着実に実行し、市場等への速やかな木材の供給を行うことが必要と考えられる。

また、適正な価格により管内の市況の安定化を図ることが重要であることから、地域における木材需給動向等を注視しつつ、供給調整の必要はないものの、国有林材の安定供給に努めていくことを求める。

5. 委員意見等

- ヒノキ原木の入荷量は少ないが需要も少なく、単価が少し上昇した。一方、製品価格は、建築基準法改正の影響で4月から落ち込み、原木高製品安の状況が続いている。

山側からの出材は順調に始まっている。一方で、輸入材の在庫は少なくなっており、需要を輸入材で賄えなくなることが予想される。国産材の持続的な供給が必要である。

- 国有林は大径材も多いことから 30 c m 上等の大径丸太の木材価格の市況が知りたい。

国有林は市況にかかわらず安定供給をしていただきたい。

川中は、原木を安売りしないしてほしい。価格維持のため、近隣の大型工場等に影響を受けない中部エリアの市場を形成していきたい。

- 供給調整の判断方法については、価格の上昇下落ではなく、一定の基準価格を上回る又は下回るときに供給調整を検討すべきではないか。木材を持続可能な資源として考えたときに、価格を需給により決定する方法は良いことか考えるべき。

- 需要の多くは、合板会社であり4月からの新価格に上げさせていただいた。川下側では、量をもとめており大型工場からは、安定的な供給が求められている状況であり年間を通じて出材していただきたい。

- 岐阜県内の市場の取扱量は、対前年度比7割～8割という状況であり、岐阜の市場は在庫が全くない状況。国有林から安定的に木材供給していただいており、安定供給を継続していただきたい。

- 愛知県方面では、木材の入荷量が減少する中、買い手側の応札は旺盛。物が少なく値段が上がっている中、良材を買おうという買方が多い。

- A材はA材として、B材はB材として適正に管理、取引されることが川上から川下までの利益配分につながり、山元に還元されることにつながると考えている。

住宅以外にも、商業、観光施設などPR性の高い非住宅への支援を始めた。

- 木材の価格に関しては、持続的に林業が成り立つという観点からも、適正な価格の基準について考えていただけるとありがたい。

- 価格解析シートの分析結果はあくまで数字を分析したもののため、その背景を分析して国有林の影響と判断されるものであれば、何らかの木材の供給調整をすると

いうことではないかと受け止められた。

以上。